

秋田農村における環境の変化と循環器疾患 ならびに検診成績の推移（第2報）

— 検 診 成 績 の 推 移 —

児 島 三 郎* 吉 田 タカラ* 船 木 章 悦*
 沢 部 光 一* 高 桑 克 子*
 今 村 久吉郎** 小 町 喜 男***

I はじめに

一報で述べたように、生活環境の変化にともなって、循環器疾患や検診成績がどのように推移して行くかを観察してみた。

II 対 象

昭和38年から50年、年1回4月に南秋田郡I町住民30才以上の男女3,190名を対象とした。

III 方 法

検診には、尿検査・問診・血圧測定・身体計測・採血（Hb. Cholesterol. その他）心電図検査・眼底検査・

総合診断・栄養調査と生活指導、等である。

また判定は日本循環器管理研究協議会・循環器疾患診断手技による。

IV 検 診 成 績

検診成績の比較にあたって、検診年次は、昭和38～41年、42～45年、46年～49年と3つに分けた。そして、各所見の推移についての比較は、昭和38～41年の40～49歳42～45年の40～49歳、46～49年の40～49歳というように同一年令層について行った。

A. 血圧値

最大血圧平均値は、男女とも40～69歳の各年令層で下降がみられる。

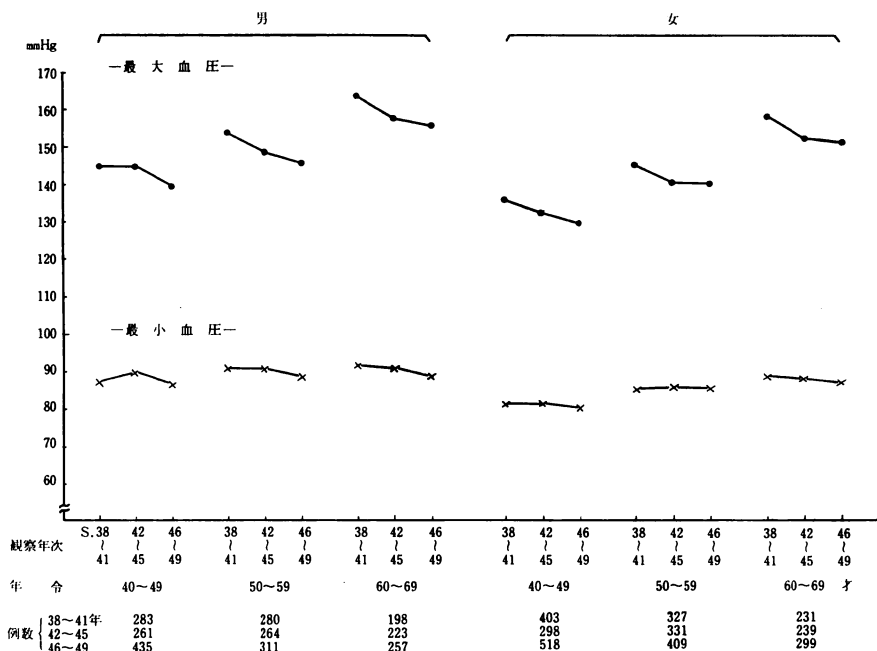


図 1. 血 圧 値

*秋田県衛生科学研究所

**秋田県五城目保健所

***大阪府立成人病センター

最小血圧平均値は男女とも、わずかではあるが下降の傾向を示している。

B. 血圧区分別頻度

男女の各年令層で、正常血圧者の割合が増加し、高血圧者の割合が減少する傾向がみられる。

C. 肥満度の分布

男子では、3つの年次を通じ、肥満度の分布はほぼ同じ分布状態で経過している。これにたいし、女子では昭和42～45年次より肥満度+20%以上の者の増加が観察される。

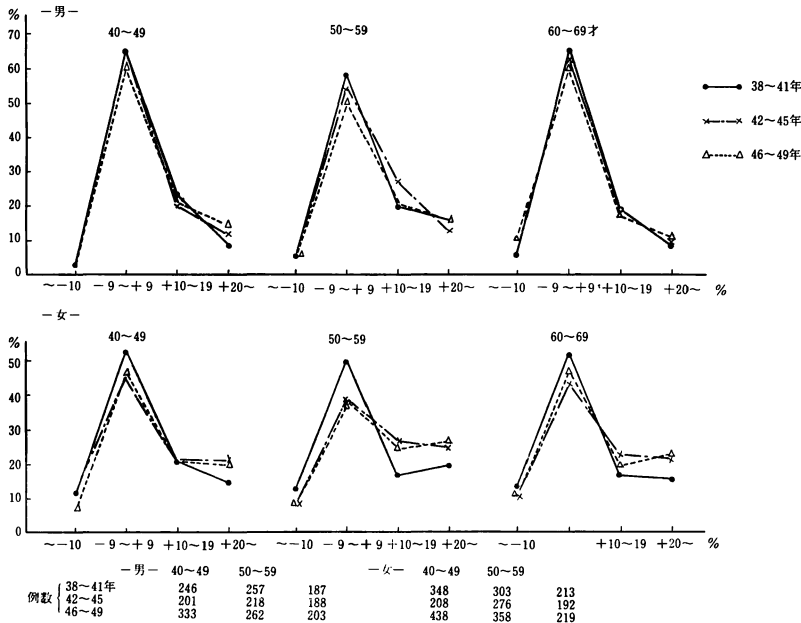


図 2. 肥 満 度 の 分 布

D. 眼底所見高血圧性変化Ⅱ度以上または細動脈硬化性変化Ⅱ度以上の頻度

男子では全例、高血圧例ともに高血圧性変化または細

動脈硬化性変化Ⅱ度以上の頻度は減少している。そして、減少の程度は年令層が低くなるほど顕著である。女子でも40～59歳までは男子と同様な減少状態がみられるが、60歳代では不変のままに推移している。

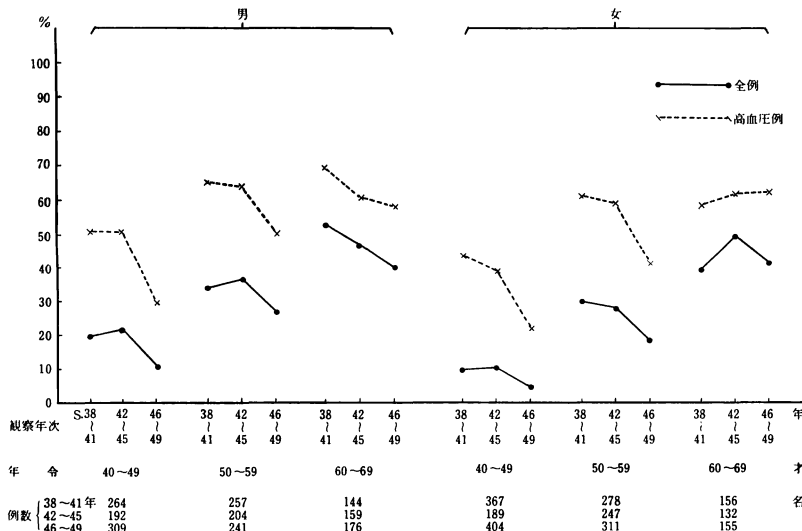


図 3. 眼 底 所 見 H & / or S $\geq$ II の 頻 度

E. 心電図所見の頻度

I-high R (Ⅲ₁) の頻度は、男女とも、各年令層で増加がみられる。

ST降下所見 (Ⅳ₁₋₄)、T逆転または平低所見 (Ⅴ₁₋₃) の頻度は、女子の60歳代以外では減少の傾向がみられる。

F. 血清総コレステロール値

血清総コレステロール平均値は、男女とも上昇を示しているが、とくに、女子の50、60歳代の上昇が目立つ。これに伴い、女子の50、60歳代では220mg/dℓ以上のコレステロール値を示す者の頻度が急速に増加している。

G. 高血圧者におけるⅠ期・Ⅱ期・Ⅲ期の頻度

心電図、眼底の両所見がそろっている高血圧例について、W・H・Oの観告案をもとにした高血圧の病期の検討を行った。

高血圧者のうちⅡ期以上と判定される者の頻度は男女とも40～60歳代では減少を示している。しかし、60歳代では男女とも減少が観察されない。

H. 脳心事故の発生状況

脳卒中の発生率は50歳、60歳代で明らかに減少している。この減少は脳出血の減少によりもたらされたものである。40歳代の脳卒中減少はみられない。急性死を含めた心事故の発生率は脳卒中の発生率に比べはるかに低率であり、増加の傾向はみとめられない。

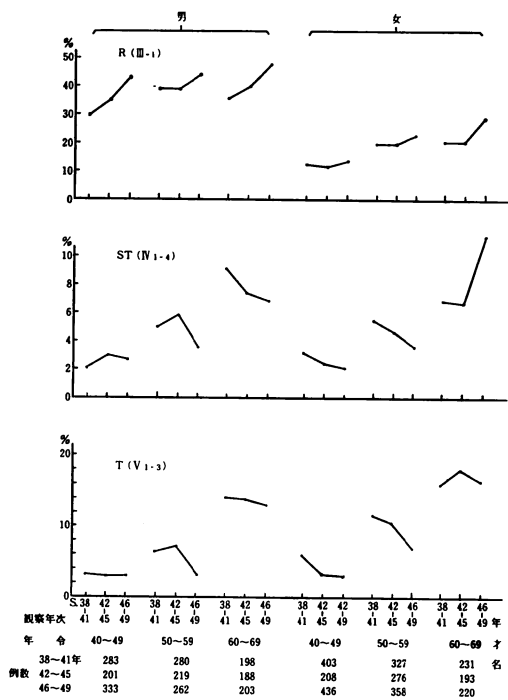


図 4. 心電図所見の頻度

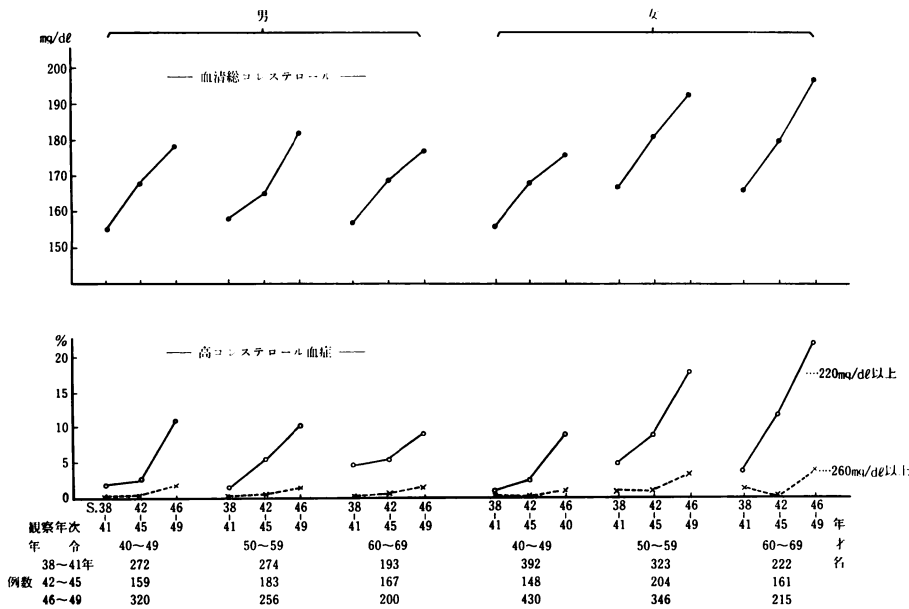


図 5. 血清総コレステロール値・高コレステロール血症の頻度

表 1. 高 血 圧 の 分 類 I 期・II 期・III 期の出現頻度 (): %

性	年 令	観 察 年 次		高 血 圧 者 数		I 期		II 期		III 期	
		S. 38~41	46~49	38~41	46~49	38~41	46~49	38~41	46~49	38~41	46~49
男	40 ~ 49	83 (100.0)	100 (100.0)	35 (42.2)	66 (66.0)	44 (53.0)	26 (26.0)	4 (4.8)	8 (8.0)		
	50 ~ 59	114 (100.0)	100 (100.0)	33 (28.9)	42 (42.0)	60 (52.6)	49 (49.0)	21 (18.4)	9 (9.0)		
	60 ~ 69	93 (100.0)	111 (100.0)	26 (28.0)	33 (29.7)	45 (48.4)	61 (55.0)	22 (23.6)	17 (15.3)		
女	40 ~ 49	48 (100.0)	58 (100.0)	25 (52.1)	43 (74.1)	19 (39.6)	14 (24.1)	4 (8.3)	1 (1.7)		
	50 ~ 59	95 (100.0)	101 (100.0)	30 (31.6)	54 (53.5)	55 (57.9)	44 (43.6)	10 (10.5)	3 (3.0)		
	60 ~ 69	72 (100.0)	87 (100.0)	20 (27.8)	26 (29.9)	41 (56.9)	51 (58.6)	11 (15.3)	10 (11.5)		

表 2. 脳 卒 中 の 発 生 状 況 (): 発生率1000対/年 初回発症者

		人 口		脳 出 血		脳 硬 塞		全 脳 卒 中	
		昭40.10	昭45.10	昭38~43年	44~49	38~43	44~49	38~43	昭44~49年
男	30 ~ 39才	501	469	(0.67) 2	(0.35) 1	(0.46) 1	(0.35) 1	(1.00) 3	(1.06) 3
	40 ~ 49	362	426	(0.92) 2	(0.39) 1	(0.46) 1	(1.56) 4	(2.30) 5	(3.12) 8
	50 ~ 59	335	303	(1.99) 4	(2.20) 4	(3.98) 8	(1.65) 3	(7.46) 15	(6.60) 12
	60 ~ 69	215	250	(6.97) 9	(2.00) 3	(12.40) 16	(12.66) 19	(23.25) 30	(16.00) 24
	70 ~	96	139	(6.94) 4	(4.79) 4	(12.15) 7	(20.38) 17	(20.83) 12	(31.17) 26
	計	1,509	1,587	(2.31) 21	(1.36) 13	(3.53) 32	(4.62) 44	(7.17) 65	(7.66) 73
女	40 ~ 69	912	979	(2.74) 15	(1.36) 8	(4.56) 25	(4.42) 26	(9.13) 50	(7.49) 44
	30 ~ 39	528	497	(0.31) 1				(0.31) 1	
	40 ~ 49	456	489	(1.09) 3	(0.68) 2			(1.09) 3	(1.02) 3
	50 ~ 59	354	395	(2.35) 5		(1.41) 3	(0.84) 2	(5.17) 11	(2.10) 5
	60 ~ 69	244	268	(4.09) 6	(1.24) 2	(4.78) 7	(6.21) 10	(11.61) 17	(9.32) 15
	70 ~	128	161	(7.81) 6	(4.14) 4	(6.51) 5	(15.52) 15	(15.62) 12	(21.73) 21
	計	1,710	1,810	(2.04) 21	(0.73) 8	(1.46) 15	(2.57) 28	(4.28) 44	(4.05) 44
	40 ~ 69	1,054	1,152	(2.21) 14	(0.57) 4	(1.58) 10	(1.88) 13	(4.90) 31	(3.32) 23

表 3. 心 事 故・急 性 死 の 発 生 状 況 (): 発生率1000対/年

		人 口		心 事 故 (狭 心 症 心 筋 硬 塞)		急 性 死 (24時 間 以 内)		計 (心 事 故 + 急 性 死)	
		昭40.10	昭45.10	昭39~43年	44~49	39~43	44~49	39~43	昭44~49年
男	30 ~ 39才	501	469						
	40 ~ 49	362	426			1		1	
	50 ~ 59	335	303				2		2
	60 ~ 69	215	250	3	3	3	1	6	4
	70 ~	96	139		4	1	2	1	6
	計	1,509	1,587	(0.39) 3	(0.73) 7	(0.66) 5	(0.52) 5	(1.06) 8	(1.26) 12
女	40 ~ 69	912	979	(0.65) 3	(0.51) 3	(0.87) 4	(0.51) 3	(1.53) 7	(1.02) 6
	30 ~ 39	528	497				1		1
	40 ~ 49	456	489				1		1
	50 ~ 59	354	395				1		1
	60 ~ 69	244	268						
	70 ~	128	161			2	2	2	2
	計	1,710	1,810			(0.23) 2	(0.46) 5	(0.23) 2	(0.46) 5
	40 ~ 69	1,054	1,152				(0.28) 2		(0.28) 2

文 献

日本循環器管理協議会編：高血圧保健指導ハンドブック，昭和44年9月